



新潟市 胃内視鏡検診研究
ニュースレター

「チューリップ通信」は
新潟市の胃内視鏡検診の研究に
ご協力いただいている方にお送りしている
ニュースレターです

見出し

* 研究検診受診のご案内1
* 胃がんの統計	...2-3
* お知らせ4

2回目、3回目の胃内視鏡検査を受けましょう！

これまでも検査のご案内や予約をしてきましたが、まだ胃内視鏡検査を受診されていない方がいらっしゃいます。研究検診は1年おきに3回続けて、胃内視鏡を受診することをお願いしています。胃がん検診は1回の受診だけでは効果がありません。続けて受診することが大切です。

今年度は、以下の方々にご案内しています。昭和27年生まれの方634人、昭和29年生まれの方532人が対象です。(辞退・転居等除く)

昭和27年4月1日から昭和28年3月31日生まれの方には、3回目の胃内視鏡検査

昭和29年4月1日から昭和30年3月31日生まれの方には、2回目の胃内視鏡検査

今年度の胃内視鏡検診は3月31日までとなります。お送りした予約票をお持ちになり、胃がん検診を受診してください。また、紛失などでお困りの場合には、再発行しますので、事務局にご連絡ください。



本研究は、日本医療研究開発機構研究費による「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」(課題番号:16817317) 研究班(研究代表者 深尾彰)の一部として行っています。

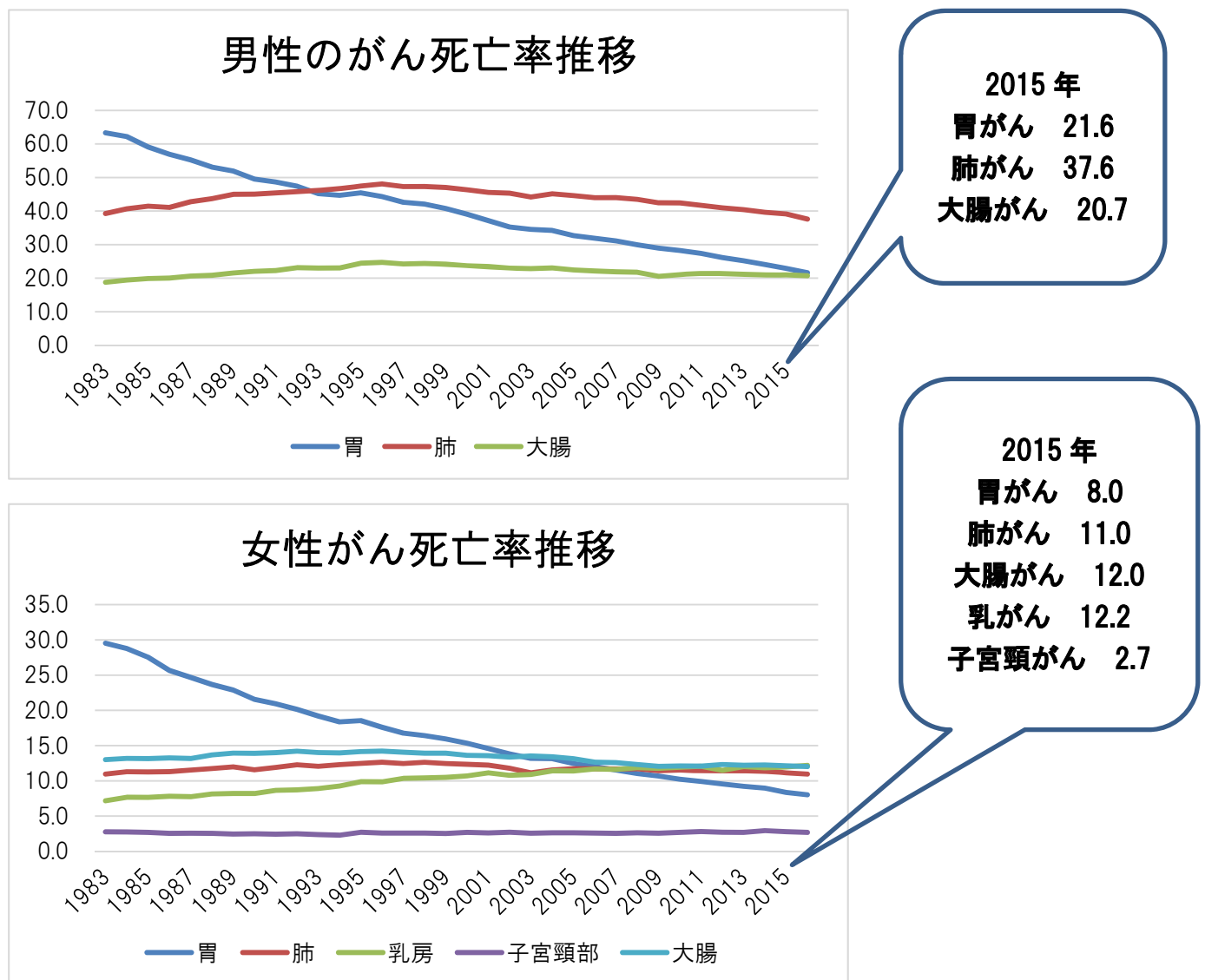
胃がんの統計

現在、2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなります。一方、がんの診断や治療が進歩し、がんにかかるイコール死亡というわけではありません。胃がんに関する詳しい情報を統計をもとに解説します。

胃がんで亡くなる人はどのくらいいるのか

病気による死亡率は、10万人のうち何人その病気で亡くなるかという数値で表します。また、異なる地域や年では、もともと人口構成が異なることから、高齢者の多い地域では死亡率が高く出てしまう可能性があります。この偏りを除く方法として、年齢調整死亡率という方法が用いられます。これからお示しする統計は、10万人のうち何人ががんで亡くなるかを示した年齢調整死亡率を示しています。

かつて、胃がんによる死亡はがん死亡のトップを占めていました。しかし、胃がんの死亡率（/10万）はこの20年間で劇的に減っています。しかし、それでもなお胃がんによる死亡は、がん死亡のなかで、男性の第2位、女性の第3位を占めています。



データ出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」. Available from:
http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/index.html

胃がんにかかる人はどのくらいいるのか

がんにかかった人がどのくらいいるのかを正確に調べる仕組みは、これまでありませんでした。2016年から、ようやく法律により、全国がん登録という仕組みができました。がん登録の仕組みについて、次の項目をご覧ください。このため、一部の地域のデータに基づく推計値が公表されてきました。

2013年にがんになった人は約50万人います。このうち、胃がんは9万人と、18%を占めています。胃がんになる人は、女性より男性が多く、また高齢になるほど増加します。

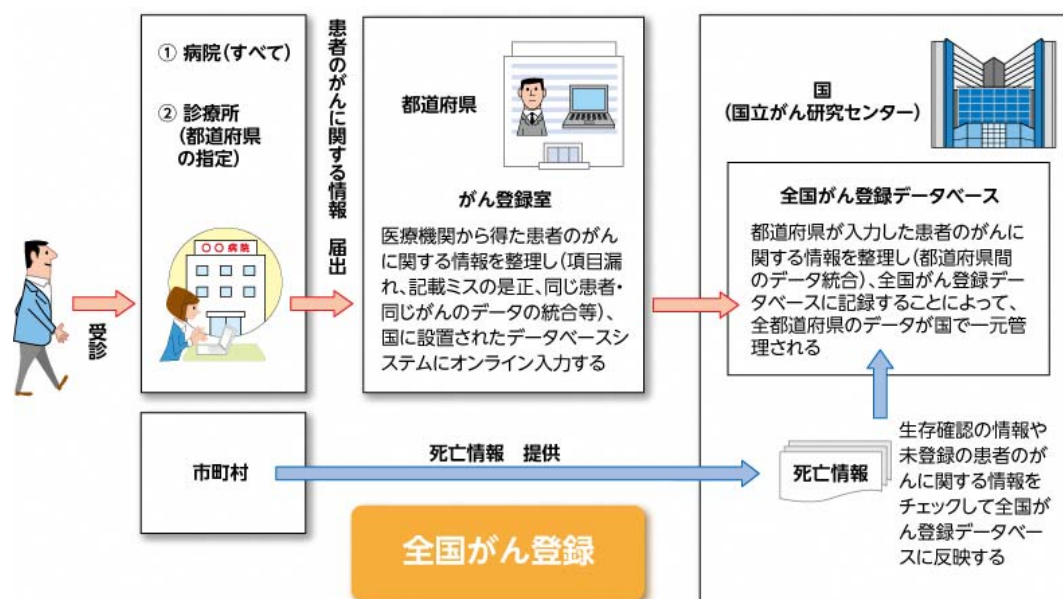
がん登録とは？

がん登録とは、がんにかかった人を数える仕組みです。以前は、宮城県、新潟県、鳥取県などの一部の県でしか、この仕組みはありませんでした。このため、日本全体でどのくらいの人のがんになるかは正確にはわかりませんでした。しかし、2016年から、新しい法律ができて、すべての県でがん登録を行うことになりました。

がんにかかった人を数えることにより、地域によりどのような種類のがんが多いか、またどの年代にどのようながんが多いかなどがわかります。これにより、がんを正しく診断するための医療機器の整備や配置、またどのようながんに対して治療できる病院を増やせばいいか、などの地域に合った医療の計画をたてることができます。この結果、どこでも標準的な医療が受けられるような改善を図ることができます。

がん登録は、がんの診断をした病院や診療所が、各県のがん登録の担当部署に届け出をします(図)。そこでは、県内のすべての医療機関から情報を収集し、その結果を国に届けます。それにより、日本全体のがん患者数を把握することができると共に、県別のがんの患者数の比較なども可能になります。

図1 2016年1月からの「全国がん登録」の仕組み



国立がん研究センター がん情報サービスから引用

https://ganjoho.jp/reg_stat/can_reg/national/public/about.html

お知らせ

講演会のご案内

研究対象者ミニ講演会

日時：平成 30 年 3 月 3 日(土)

午前 10 時～11 時半

会場：新潟市総合保健医療センター2F 講堂（新潟市中央区紫竹山 3 丁目 3 番 11 号）

内容：ピロリ菌の話（新潟県健康管理協会 加藤俊幸先生）

参加：申し込みは不要、直接お越しください

新潟市民講演会（予定）

日時：平成 30 年 10 月 14 日(土)

午後 1 時 30 分～午後 4 時

会場：新潟市民プラザ（新潟市中央区）

内容：乳がん検診と大腸がん検診について

参加：平成 30 年 9 月頃市報にいがたでお知らせします

第 57 回日本消化器がん検診学会 市民講座

日時：平成 30 年 6 月 9 日(土) 午後 3 時～5 時半

会場：新潟県民会館 小ホール（新潟市中央区）

内容：未定

参加：第 57 回日本消化器がん検診学会ホームページで確認してください。

HP: <http://admedic.jp/jsgcs57/>



ご意見・写真募集

講演会やチューリップ通信に取り上げてもらいたい話題がありましたら、ご意見をお寄せください。また、チューリップ通信では、紙面を飾るチューリップの写真を募集いたします。ご自慢の写真を電子画像(オリジナルを加工した画像も可)、あるいは焼き付け写真にて、メール、郵送等で事務局までお送りください。チューリップの写真を採用させていただいた方には、図書カード(500 円)を進呈いたします。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております。

ホームページのご案内

ホームページでは、次年度以降も皆様の検診のご案内を続けていきます。

ご意見・ご質問がありましたらお寄せください。

また、「チューリップ通信」のバックナンバーも PDF ファイルでご覧いただけます。

研究や検診についてのご意見・お問い合わせはメール(kenshin@esgcr.jp)でも受け付けています。

胃内視鏡検診研究ホームページ

<http://www.esgcr.jp/>